

きちんと分別すれば1年間で

2147トンがリサイクル可能です

3Rを推進しましょう

資源化できるごみの混入量 (2147トン)

※組成調査の結果から推定した混入量

環境について考えてみよう 私一人だけでは…と考えていませんか

地球温暖化や原発事故による電力不足。決して他人ごとではありません。一人一人が少しずつ環境について考えることで、大きなものになっていきます。地球は人間だけのものではありません。私たちは、地球に生かされていることを意識して環境について考えてみましょう。

市は、平成24年7月に高梁市環境基本計画を策定し、市民の皆さんの協力のもと、良好な環境の保全や創造に向けて取り組んでいます。

ごみの減量化とリサイクルの推進、省エネルギーについて考えてみましょう。

■問い合わせ 環境課 ☎210259

2147トンの資源が燃やされています。
ひと手間かけて分別をしましょう。

市一般廃棄物処理基本計画策定(平成21年度)のため、燃えるごみの組成調査を実施したところ、リサイクル可能な資源ごみが22・73パーセントも混入していることが分かりました。(表①)

本市の燃えるごみの総排出量は、9447トン(平成24年度)ですから、約2147トンの資源ごみが燃やされている計算になります。

一方、きちんと分別すると、約2147トンが再利用(リサイクル)され、資源になります。また、1トン当たりのごみの処理費に約5万円掛かっています。再利用(リユース)、ごみの発生を抑制(リデュース)することも大切です。「まあいいか」ではなく、捨てる前に少し考えてみましょう。

【表①】

種別	混入割合	推定混入量
新聞紙	5.13%	485トン
雑誌	3.58%	338トン
紙パック	1.59%	150トン
段ボール	2.22%	210トン
その他プラ	9.72%	918トン
ペットボトル	0.49%	46トン
計	22.73%	2147トン

事業系ごみはゴミステーションに出せません

飲食店や各種事務所、店舗、旅館、ホテル、学校や官公庁等の事業活動(一般家庭以外)に伴って生じる「事業系ごみ」は、一般家庭のごみ集積場所へ出すことができません。事業者が直接クリーンセンターに搬入するか、廃棄物の処理業者へ依頼する必要があります。



ごみはきちんと分別し処理すれば、資源として再利用されます



私たちに出来る身近なことから始めてみましょう

- ◎ 買い物の時にレジ袋をもらわないように。毎月10日はノーレジ袋デーです。
- ◎ 詰め替えてできる商品は、詰め替用のものを購入しましょう。
- ◎ 再生品を購入しましょう。リサイクルショップの利用も。
- ◎ 食料品は、食べる分だけ購入しましょう。
- ◎ 生ごみは、よく水を切って捨てましょう。生ごみ処理機購入費の補助があります。
- ◎ 子ども服やおもちゃ、本などを譲り合いましょう。成長していらなくなっても、まだまだ使えます。
- ◎ 資源ごみは丁寧に分別しましょう。リサイクル原料として再利用されます。



繰り返し使おう

リユース
Reuse/ 再利用する

ごみの量を減らそう

リデュース
Reduce/ 減らす

3R

最後まで資源として利用しよう

リサイクル
Recycle/ 再生する